



環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」

南国市エコプラン実行計画

概要版



平成23年3月

南 国 市



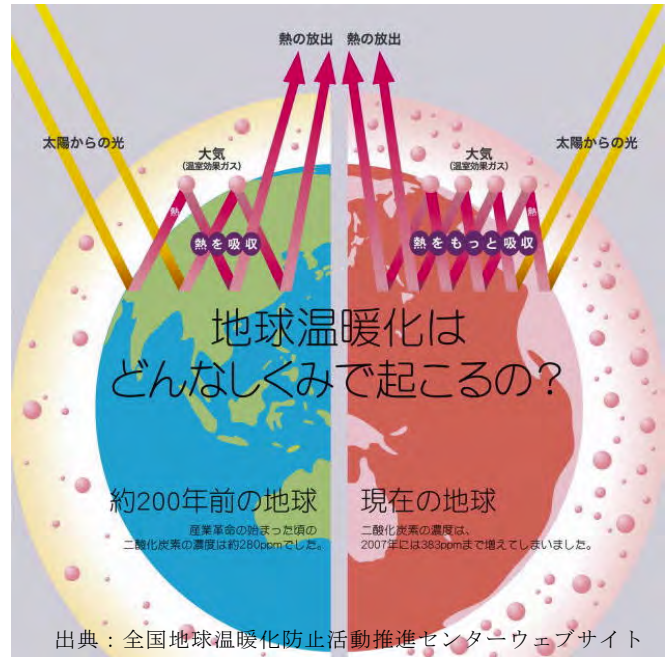
表紙絵：酒井 拓真さん(大籾小学校 5年生)

地球温暖化とは！

地球は太陽からの日射エネルギーで暖められ、暖められた地表からは熱が放射されます。その放射熱を二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスが吸収することで、大気が暖められ、地球は適度な温度に保たれています。

温室効果ガスは、生物が生きるために必要不可欠なものです。しかし産業革命以降、化石燃料を大量に使用したことで、大気中のCO₂濃度が増加してしまいました。その結果、温室効果が著しくなり、地球の温度は上昇しています。

ここ100年間で地球の平均気温は0.74℃上昇し、このままだと21世紀末には1.8～4.0℃上昇すると予測されています。



予想される地球温暖化の影響

地球温暖化の進行に伴い、世界で異常気象が頻発していますが、将来的には大きな影響があると考えられます。

また、こうした影響の相乗効果により、将来、予想もつかない異常事態が起こる可能性もあります。地球温暖化は、これまでの局地的な環境問題とは大きく性格が異なる現象です。

このため、将来の世代のことを考え、早急に対策に取り組む必要があります。



海水の熱膨張や氷河が融けて、海面が最大 80 cm 上昇します。南極の氷が融けるとさらに海面が上昇します。



マラリアなどの熱帯性感染症の発生が広がります。

気候の変化に加えて、病虫害の増加で穀物生産が大幅に減少し、世界的に深刻な食糧危機を招く恐れがあります。



現在、絶滅の危機にさらされている生物は、ますます追い詰められ、さらに絶滅に近づきます。

降雨パターンが大きく変わり、内陸部では乾燥化が進み、熱帯地域では台風、ハリケーン、サイクロンといった熱帯性低気圧が猛威を振るい、洪水や高潮などの被害が多くなります。

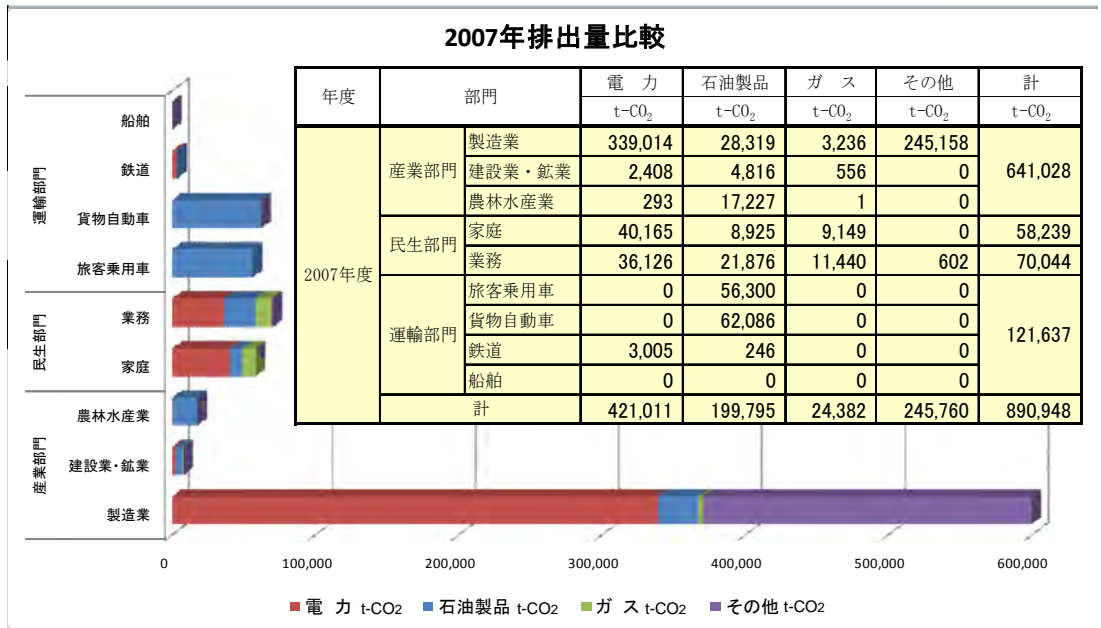
南国市の現状と削減目標

二酸化炭素排出量は

南国市の二酸化炭素排出量は、2007年(平成19年)のデータで推計すると約89万tとなりまして。

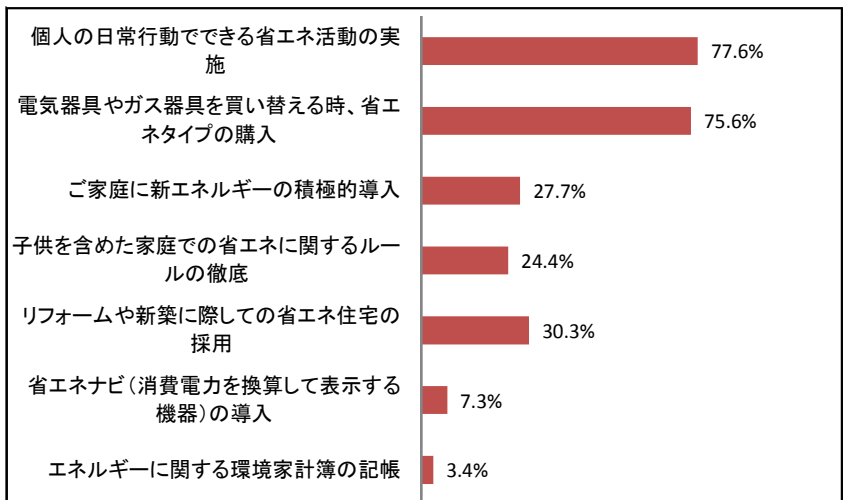
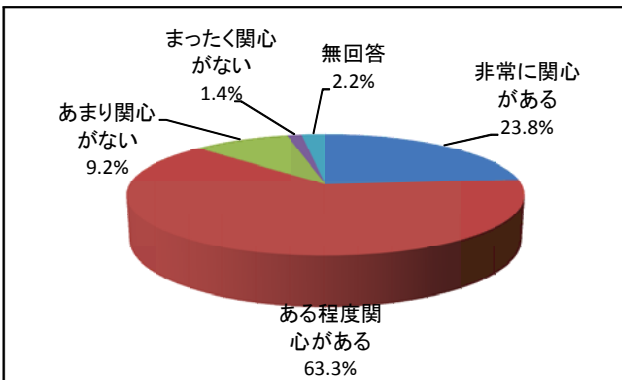
製造業出荷額が1988年(昭和63年)から徐々に増加し、2007年(平成19年)にピークとなっています。

これは、1990年(平成2年)に南国市の企業誘致により製造業者が進出し、製造品出荷額が拡大したことによると推察されます。



南国市民の意識は

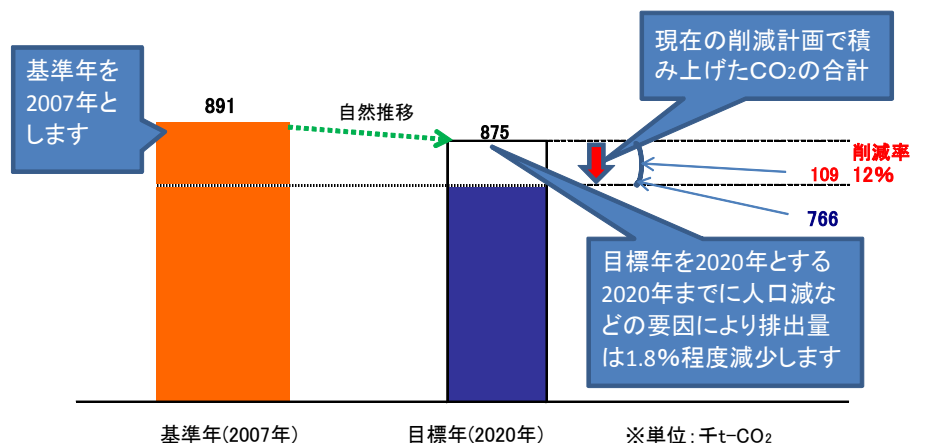
市民1,000人を対象にアンケート調査を実施し、357人(回答率35.7%)の回答がありました。



二酸化炭素の削減目標は12%!

将来の削減は、最大限の努力をもって達成すべきであり、各種の削減対策と施策を有効かつ果敢に実行することが重要です。

平成32年度(2020年度)における南国市の二酸化炭素排出量の削減目標
基準年度(2007年)比
12%削減



環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」の実現を目指して

本計画の基本理念として『環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」』を掲げ、以下に示す基本方針をもとに対策施策を設定します。

基本理念

基本方針

環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」

1. 太陽と水を活かした自然と人とが共生する都市づくり

南国市の都市像は、物部川によって開けた平野の中に立地する田園都市です。太陽と水を活かした自然と人とが共生する都市づくりを積極的に推進します。

2. 新エネルギーを導入した環境負荷の少ないまちづくり

環境負荷の少ない持続可能な社会の構築や暮らしの豊かさを確保するためには、化石燃料に頼らない自然エネルギーやリサイクルエネルギーの導入が不可欠です。このため、新エネルギーを積極的に導入します。

3. グリーン産業の導入による産業振興の仕組みづくり

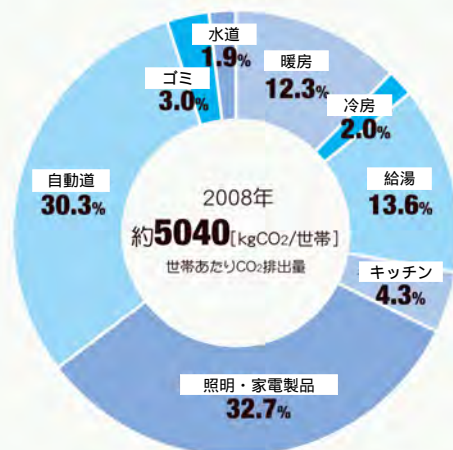
南国市は、産業構造の変化や不況により、雇用は非常に厳しい状況にあります。新たな施策を取り入れ、グリーン産業への進出や南国市内の各事業所へ省エネ・新エネ施設関連資金の導入などにより、雇用の確保を図り、環境を産業に取り入れた好循環する仕組みをつくります。

4. 全市的な連携で環境活動を進める人づくり

基本理念を実現し、環境への取組をまちづくりの基盤として施策を推進するためには、市民一人一人が自発的に取り組む推進体制を構築する必要があります。そのため、行政はもとより全市的な活動を進める人づくりが不可欠であり、地域、学校、事業者などと連携した人づくりを目指します。



家庭からの二酸化炭素排出量
—用途別内訳—



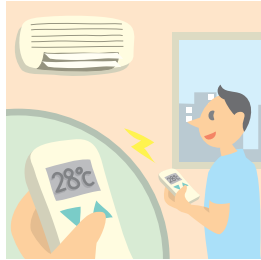
家でできる 温暖化対策

私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすためにはどうすればいいのでしょうか。まず、下に挙げた10の取り組みのうち、できるものから始めてみましょう。

1 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する

カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れることにより冷暖房の設定温度を工夫して過ごしましょう。扇風機を併用することも有効です。

年間約33kgのCO₂の削減、
年間で約1,800円の節約



6 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす

洗濯や庭の水やりのほか、トイレの水に使っている人もいます。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利です。

年間約7kgのCO₂の削減、
年間で約4,200円の節約



2 車は必要な時だけ使いましょう

通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。歩いたり自転車を使う方が健康にもいいですよ。

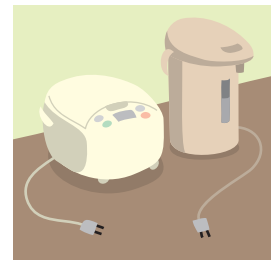
週2日往復8kmの車の運転をやめると
年間約184kgのCO₂の削減、
年間で約9,200円の節約



7 ジャーの保温を止める

ポットやジャーの保温は利用時間が長いと、多くの電気を消費します。ごはんは電子レンジで温めなおす方が電力の消費は少なく、しかもおいしいのです。

年間約34kgのCO₂の削減、
年間で約1,900円の節約



3 アイドリングストップを行う

駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。

1日5分間のアイドリングストップで
年間約39kgのCO₂の削減、
年間で約1,900円の節約



8 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす

家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明も余計に必要になります。使わない部屋の電気器具は消しましょう。

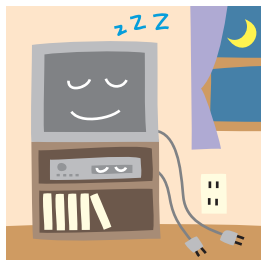
年間約238kgのCO₂の削減、
年間で約10,400円の節約



4 家庭の待機電力を削減する

主電源を切りましょう。長期間使わないときはコンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い換えの際には待機電力の少ない物を選ぶようにしましょう。

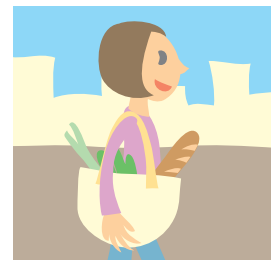
年間約60kgのCO₂の削減、
年間で約3,400円の節約



9 買い物袋を持ち歩き、省包装の品物を選ぶ

トレーやラップは家に帰れば、すぐごみになります。買い物袋を持ち歩けばレジ袋を減らせます。

年間約58kgのCO₂の削減



5 シャワーを1日1分家族全員が減らす

身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。節水シャワーは便利です。

年間約69kgのCO₂の削減、
年間で約7,100円の節約

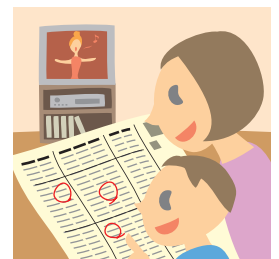


10 テレビ番組を選び、テレビ利用を減らす

見たい番組だけ選んでみるようにしましょう。

1日1時間減らすと

年間約14kgのCO₂の削減、
年間で約800円の節約



たしかめてみよう!
あなたの省エネ度は
どのくらい?

ライフスタイルチェック25

環境に優しいまちづくり
Hコジティなんこく

空調	
① 暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定をする。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
② 電気カーペットは部屋の広さや用途にあったものを選び、温度設定をする。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
③ 冷暖房機器は不必要なつけっぱなしをしない。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
④ こたつはこたつ布団と一緒に敷布団と上掛けも使用し、温度こまめに調節する。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
照明	
⑤ 照明は、省エネ型の蛍光灯や電球形蛍光ランプを使用する。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
⑥ 人のいない部屋の照明は、こまめな消灯を行う。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
娯楽	
⑦ テレビをつけっぱなしにしたまま、他の用事をしない。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
台所	
⑧ 冷蔵庫の庫内は季節にあわせて温度調整を行い、ものを詰め込み過ぎないように整理整頓を行う。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
⑨ 冷蔵庫は壁から適切な間隔をあけて設置している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
⑩ 冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、開けている時間を短くする。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
⑪ 洗いのものをする時は、給湯器は温度設定を出来るだけ低くする。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
⑫ 煮物などの下ごしらえは電子レンジを活用する。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
⑬ 電気ポットは長時間使わない時には、コンセントからプラグを抜く。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
⑭ 食器洗い乾燥機を使用する時は、まとめて洗い温度調節もこまめにする。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
風呂とトイレ	
⑮ お風呂は、間隔をおかずに入るようにして、追い焚きをしない。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
⑯ シャワーはお湯を流しっぱなしにしない。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
⑰ 温水洗浄便座は温度設定をこまめに調節し、使わない時はふたを閉める。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
洗濯	
⑱ 洗濯する時は、まとめて洗う。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
自動車	
⑲ ふんわりアクセル「eスタート」をする。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
⑳ 加減速の少ない運転をする。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
㉑ 早めのアクセルオフをする。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
㉒ アイドリングストップをする。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
㉓ 外出時は、できるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関を利用する。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
その他	
㉔ 電気製品は、使わない時はコンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくする。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
㉕ 電気、ガス、石油機器などを買う時は、省エネタイプのものを選ぶ。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No

お持ちでない機器は、Yesとしてください。

Yesの合計

あなたの 省エネ度は?	Yesが20個以上	Yesが19～12個	Yesが11～5個	Yesが4個以下
	ズバリ省エネ派	まあまあ省エネ派	まだまだ省エネ派	もっと省エネ派

発行 平成23年6月1日 南国市環境課

〒783-8501 南国市大桶甲2301 電話 088-880-6557 <http://www.city.nankoku.kochi.jp/>